

マネージメント情報

※ リポートブリーダーへの体外受精卵の追い移植…④

先月 8/12-13 の日程で北大で開催されました(少々長くなりますが…)日本胚移植研究会・東日本家畜受精卵移植技術研究会・北海道牛受精卵移植研究会の合同研究発表大会に参加してきました。その時に毎年おこなわれている日本 ET 実務者ネットワーク研修会という全国の ET 技術者が集う勉強会があり、北海道で活躍している ET 車を紹介したいので…という依頼があり私たちの車も展示してきました。



手前からトータルハードエンブリスサービス、
ジェネティクス北海道道東事業所平井先生、
帯広の松崎先生の3台です。

日本 ET 実務者ネットワーク facebook より

<復興卵子牛の誕生>

研究会の中で宮城県農業高校で復興受精卵による子牛が今年 7/11 に誕生したという心温まる報告もありました。

以下酪農学園大学 HP より

本学が昨年7月に、東日本大震災で牛舎や乳牛をほとんど喪失する甚大な被害を受けた宮城県農業高校へ、復興支援のため無償提供した乳牛受精卵から第1号の雌牛が7月11日に誕生しました。

この乳牛受精卵の無償提供は、同高校より本学に進学した在学学生から母校の復興のための受精卵提供が受けられないかとの相談があり、本学循環農学類の高橋茂教授（家畜改良学研究室）が橋渡しの役目を引き受け、北海道乳牛改良協議会を通じて、道内酪農家をはじめジェネティクス北海道の多大な協力を得て行ったものです。



左・上写真酪農学園大学 HP より



渥美牛群管理サービス菅原紀氏
facebook より

道内の酪農家から集められた受精卵は、2012年7月6日32卵、2013年1月22日30卵、2013年6月15日30卵と3回に渡って同高校へ送られ移植したところ、今回の雌牛誕生となりました。

生まれた雌牛の祖母牛「レスポアール レーガンスター ハーゲン」は、(EX93) 2006. 2007 北海道ホルスタインナショナルショウで、2年連続グランドチャンピオンに輝いた日本を

代表するショーカウであることから、この雌牛は2015年開催予定の全日本ホルスタイン共進会（北海道開催）に出品できる可能性もあると期待を集めています。

受精卵移植技術にはこのような可能性があるということをご理解していただければと思います。ただし、夢の部分と現実の部分とはしっかりと区別をしていかなければならないとも考えています。

※ 授精も移植もおこなうべし！

先日のこと、追い移植をする前日には黄体の状況を確認に行くのですが、通常はエコーで見ても2cm以上の黄体があれば何も考えずに移植をするのですが、黒崎が担当する農場のその牛は卵胞嚢腫という判断で追い移植は見送ることにしました。その後日談です。

「山が移植しなかった牛とまっていたぞお〜」、長期不受胎牛を何とかとめようと追い移植し八戦全敗の中、自分がハネた牛が妊娠していたという現実…。嚢腫と診断した卵巣に薄く黄体化した組織が妊娠に十分な黄体ホルモンを出していたのでしょ。

わからないものです。

これにめげずに1頭でも多く受胎させたいと思うしだいです。

-
- ・ 数年ぶりに車で別海と札幌を往復してきました。こちらに帰って来てから調子が今イチで病院へ行くと高血圧という診断…今まで自分には関係ないと思っていた病名に些かテンションが下がり気味ですが、自分なりの診断は疲労からくる一過性のもの……出された薬は飲まず、毎日血圧計で測っていますが現在のところ安定しています。もう少しは諸先輩の皆様の一歩手前で踏ん張ることができそうです。
 - ・ 西越さんから近況報告のメール(室蘭通信)が届きました。現在は室蘭日鋼記念病院でおじさん研修医として日夜頑張っているようです。是非ご一読下さい。
 - ・ 今朝、別海の小野幸一さんに検診に行くと、今日は忙しいから育成牛は中止にしてとのこと。理由を聞くと『秘密のケンミン SHOW』の取材があるとか？別海のドライブインロマンのポークチャップについてのインタビューを受けるそうです。放送はいつになるかはわかりませんが、しばらくの間新聞のテレビ欄を注意して見て下さい。